

市高 人権新聞

第4号 11月
発行所 徳島市北沖洲1丁目15番60号
市高 人権委員会
市高 人権新聞社 2018

中・高校生による人権交流集会

県内の中学生・高校生とともに人権について考えよう！

12月16日(日)に徳島県教育会館にて「中・高校生による人権交流集会」(10時から16時まで)が開催されます。毎年実施されているこの行事は、徳島県の中学生や高校生らが人権について、交流を深めていくことを目的としています。午前のは、遊芸芸能チングドウル(韓国・朝鮮と日本の民族楽器や民謡に携わる在日コリアンと日本人のユニット)による公演とトークが行われます。テーマは「日本とコリアンの出会いを発展の力に」となっています。午後からは3つの分科会に分かれ、各テーマで話し合いがもたれます。各分科会の運営や進



中・高校生による
人権交流集会
「はるよん(金)」と「未来」に
— みんなで築く人権 —

12月16日(日) 10:00~16:00
徳島県教育会館
公演とトーク 10:20~12:00
遊芸芸能チングドウル
「日本とコリアンの出会いを発展の力に」

互いに認め合うことの大切さ

「アイヌの人々」から考える



修学旅行で北海道へ行ったときに、アイヌの文化を伝承されている結城幸司さんの講演を聴きました(「人権新聞第1号」参照)。その時に、もっとアイヌのことについて知りたいと思

思いやりを持って

「人権新聞発行に際して」

みなさんは、日頃いろいろな人と会話をする機会があると思います。その会話の中で相手に対する思いやりを持っていてほしいです。話を傷つけてしまうような発言をしてしまい、もう二度と取り返しのつかないことが起こってしまう可能性があります。人権を考

八九八年に明治政府が制定した「北海道旧土人保護法」によって、その独特の文化や生活は奪われていきました。これにより、国家からだけでなく、本土から北海道へ移住してきた一般人からも差別を受けるようになりまし



人権啓発パネル展

アイヌの人々は、自然を大事にするとても素晴らしい民族です。その文化や考え方を受け入れ、互いが互いを認め合い、共存できる方法を探求していきたいと、私は強く思っています。二〇四HR 人権委員

ある医科大学で女性および三浪以上の受験生を減点する不正入試が行われていたことが判明した。これまで、目標を持ち進路決定に向けて努力する生徒の姿を間近に感じてきただけに強い怒りを感じた。▼不正入試が明らかになった際、擁護派の声も意外なほど大きかった。「女性は結婚や出産で職場を離れることがあるから」「大病院の運営上、将来的な医師不足を避けたいから」「医師は激務であるが、女性医師が休職中は男性医師にそのしわ寄せがくるから」。大学は募集要項などでオープンに女性お断りしていないのは、受験料収入の減少という、別のまづい状況となるからか。▼いずれも男性および経営者側の立場にたった言い分ではないことに気づく。医療現場のこうした過重労働の実態が改善されるべきであることに疑問はない。ただ、入試で差別することに絶対策を求めてきたことは絶対に許せない。大病院の都合を入試に反映させた採用試験的な要素も強く、ある意味就職差別でもある。▼人の健康や命に向き合おうとする志あるすべての人が、その入り口で不当な理由により躓くということは国民全体に関わる大きな問題であると考

後期人権委員長
二〇八HR 中谷虎太郎
人権教育主事